

## Web 版 図書館しが

平成 20 年 4 月 1 日発行 編集・発行：滋賀県立図書館

## 春を呼ぶ滋賀の祭り

滋賀県の祭りには、五穀豊穡を願う祭りや疫病を封じる祭りだけでなく、地元の人々が私財を投じて守り続けてきたものや、他では見ることができないような奇祭といわれる祭りがあります。今回の館報では、滋賀県の代表的な春祭りをご紹介します。

## 〔湖国三大祭り〕

湖国三大祭りには、日吉山王祭・長浜の曳山祭り・大津祭がありますが、春には前者二つの祭りが行われます。

日吉山王祭は、平安時代に比叡山延暦寺の僧が、朝廷への強訴のため京の都へ神輿を担ぎ込んだことに始まる祭りで、山王信仰の本拠地が

ある大津市坂本の日吉大社で行われます。

3月1日から約一ヶ月半をかけて、男宮と女宮のお見合いから若宮の出産、宮参りまでを表しています。江戸後期に出版された、当時の旅行ガイドともいえる『近江名所図会』（浪花書林・1814年）には祭りの様子が挿絵と関連する歌や物語と共に紹介されています。



## INDEX

- ・(特集) 春を呼ぶ滋賀の祭り . . . . . 1 ~ 3 面
- ・県立図書館での研修を終えて . . . . . 3 面
- ・郷土資料紹介 . . . . . 4 面

## 図書館の催し

## 口土曜サロン

4月19日(土) 17:15 ~ 一階談話室 「浅岡利三郎の世界」(お話:澤谷とし子氏)

4月26日(土) 17:00 ~ 図書館ロビー ライブラリーコンサート

(2008 メサイア合唱団)

## みどりのつどい

4月29日(火) 10:00 ~ 15:00

キャフィーがやってくる!! (スポレク滋賀 2008 マスコットキャラクター)

チェンソーアートライブ



## おはなし会

4月18日(金)・5月16日(金)

午前11時と午後3時 一階談話室にて

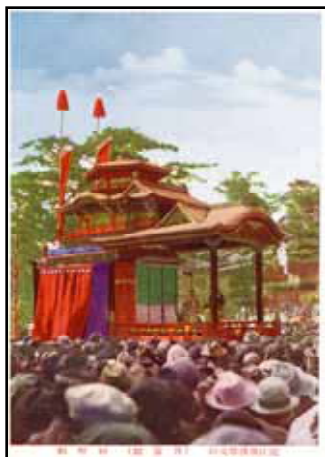
(4月より第3金曜日に変更になります。)

「えほんいっぱいいたのしさいっぱい」展

4月19日(土)~5月18日(日) 児童室にて

4月23日(水)は  
「子ども読書の日」です。

子ども歌舞伎で知られているのが、**長浜の曳山祭**です。安土桃山時代、豊臣秀吉が嫡男の誕生祝いに城下の人々に砂金を与えました。これをもとに12基の曳山を作り、長浜八幡宮の祭礼に曳きまわしたのが始まりです。江戸時代には子ども歌舞伎も演じられるようになりました。



4月14日から16日にかけて行われ、京都の祇園祭、飛騨の高山祭とともに日本三大山車祭にあげられています。

現在13基ある曳山のうち鳳凰山と翁山の見送り幕は約400年前のベルギー製のゴブラン織りで国の重要文化財になっています。

また曳山祭りの行事は昭和54年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。当館のホームページ中にある、デジタルアーカイブでは戦前の祭礼の様子を絵葉書や写真で紹介しています。

『たかしとお花ぎつね』(大石真作・井口文秀・向井康子絵 P H P 研究所・2007年)のように、子ども歌舞伎に出ることになった主人公の様子を描いた絵本もあります。

長浜曳山祭(絵葉書)

### [滋賀の奇祭]

右の写真は東近江市の伊庭の坂下し祭りの様子で、毎年5月初旬に行われます。800年以上の歴史があり、大浜神社に安置された**織峰三**神社の神輿3基を荒縄で縛って山頂に上げ、絶壁のような坂道を山麓の大鳥居まで500m、標高差170mを一気に引き下ろす勇壮な祭りです。神輿を辰の日に上げて巳の日に降ろし、酉の日に本祭があると『能登川のむかし話』(能登川町教育委員会編刊・1980年)に書かれています。



また米原市の筑摩神社で、5月3日に行われる**鍋冠祭り**は、**鍋釜祭り**とも言われています。緑の狩衣に緋の袴を身につけ、頭には張り子の鍋や釜をかぶった7、8歳の8人の女の子が渡御する祭りで、幼女から少女への通過儀礼や、不倫を戒める祭りとして知られています。山城宇治の**梶祭り**、越中鳥坂の尻叩き祭とともに日本三大奇祭とされています。



十津川警部シリーズの最新作『**奇祭の果て - 鍋かむりの殺人**』(西村京太郎著・文藝春秋・2008年)ではこの祭りが事件解明の鍵として描かれています。『**米原町むかし話**』(米原町老人クラブ・社会福祉協議会編刊・1980年)では祭りの由来が老人クラブの方々によって語られています。

鍋冠祭り(写真)

### [祭りのなかの踊り]

**けんけと祭(踊り)**と呼ばれる祭りには、東近江市蒲生町岡本、上麻生、下麻生地区の高木神社と、甲賀市甲賀町岩室と土山町前野・徳原地区の**滝樹**神社で行われているものがあります。『**近江のケンケト祭り**』(滋賀県教育委員会編・日本シネセル・1995年)はビデオになっており踊りの様子がよくわかります。

また、**長刀**を使う祭りとして竜王町山之上の杉之木神社と東近江市蒲生町宮川の八坂神社で行われる**長刀踊り**、守山市幸津川の下新川神社に伝わる幸津川の**長刀踊り**、守山市小津の**長刀踊り**があります。

これらの踊りは昭和59年に「近江のケンケト祭り・長刀振り」として国選択無形民俗文化財に選択されて、『近江のケンケト祭り・長刀振り』1・2(滋賀県教育委員会編刊・1987・1988年)としてまとめられています。

守山市の小津神社と若宮神社の間を神のお渡しとして奉納される小津の長刀踊りは、刀振りと太鼓踊りを合わせたもので、別名衣装祭りの名があるほど派手な友禅が使われ、色彩の華やかなことで知られています。祭りは三日間に渡って繰り広げられます。

5月3日には、老杉神社はじめ草津市内の7ヶ所の神社でサンヤレ踊りがあります。「サンヤレ」という囃子詞の間に意味のない語句を入れる、中世から近世初期に流行した風流囃子物といわれる民俗芸能です。室町後期から近世初頭にかけて近畿周辺に流行した疫病の退散、後に雨乞い祈願として踊られるようになったと伝えられています。平成5年(1993年)に国選択無形民俗文化財に選択されて、こちらも『草津のサンヤレ踊り調査報告書』1・2(草津市教育委員会編刊・2003年)として刊行されています。

滋賀県にはまだまだ多くの春祭りがあります。『滋賀の百祭 [正]・続』(大塚虹水著・京都新聞・1990・1998年)・『滋賀の祭りと伝統行事100選』(しがぎん健康友の会・1996年)、『湖国百選 祭踊』(滋賀総合研究所編・滋賀県・1990年)では、各地方別に祭りの様子を写真で見ることが出来ます。

祭の最新情報については「滋賀県観光情報」(<http://www.biwako-visitors.jp/>) をご覧になれば交通案内や周辺の観光情報など詳しい案内が載っています。また各社寺のホームページへリンクされていますので、関連情報にもアクセスできます。(写真は旧滋賀県観光連盟より提供いただいたもので昭和30年代の祭りの様子です。)

## 今月のBOOKまーく

### 県立図書館での研修を終えて...

湖南省立甲西図書館 近江 裕子

私は平成18年度から2年間、司書の人事交流のために湖南省立図書館から派遣されてきました。

滋賀県では、県内の図書館を巡回する協力車や研修などで、普段から図書館員どうしの交流があります。けれども実際に経験してみないとわからないこともあります。

県立図書館には、市町立図書館への支援を通して、来館できない県民にもサービスを提供するという役割があります。この機会に支援される側からする側にたってみて、この業務が県立図書館の中でかなりのウエイトを占めていることが実感できました。

また40館をこえる市町立図書館のみなさんと接することで、広い視野を持つことができました。県立図書館ならではの充実した参考図書類を実際に使って、様々なレファレンスに取り組めたことも、とても勉強になりました。市町立図書館では、普段の仕事で接するのは主に地元の住民の方々と、顔見知りの方も多く、学校との連携なども密なものです。

違う役割をもつ図書館の司書どうしが、お互いの業務について理解を深め、経験を積み、県全体でよりよいサービスを提供できるよう、この人事交流が、今後も長く続くことを願います。

最後に、利用者の皆様にも、とてもお世話になりました。どうもありがとうございました。



## FLASH ふらッシュ



### ユニバーサルデザイン化工事終了！

図書館では、2月から3月にかけてユニバーサルデザインの工事を行いました。

1階と2階のトイレに大人・子ども兼用便器と手すり、ベビーチェアを設置。中央階段、貸出カウンター奥の階段に点字ブロックを新設しました。また、食堂入口をスロープ化。そしてエレベーター内に災害時に対応した音声案内やドア閉鎖時の安全装置を取り付けました。

ユニバーサルデザインとは、年齢や性別、障害の有無に関わらず、誰にでも使いやすい製品等をデザインすること。

## 図書館からのお知らせ

県立図書館では、この4月から休館日を変更いたしました。毎週月・火曜日を休館日とします。また毎月の月末休館日はなくなります。

みなさまには、ご迷惑をおかけいたしますが今まで以上にサービス向上に努めていきますのでご理解いただきますようよろしくお願いいたします。



兵主産綿布一々執業之図

また、江戸時代を通じて全国的にも著名であった辻の鋳物師が釜などの鋳物を作ったり、より下流域の兵主では、麻を栽培・加工した「兵主縞(しま)」が作られていました。今回は、野洲川下流域に発達した江戸時代の諸産業を「滋賀県管下近江国六郡物産図説」を中心に紹介する予定です。

## 今月のデジタルアルバム帖

### 4・5月「野洲川下流域の諸職」

滋賀県最大の河川野洲川の下流域では、室町時代より野洲川の清水を利用して、地場産業として「野洲晒(さらし)」が発展しました。

## 郷土資料紹介

観音の扉 幸福に生きる智慧  
渡邊愛子文 木村至宏監修 ブックマン社 2007年  
日本古代人物伝 謎と生涯  
前田晴人著 新人物往来社 2007年  
井伊直弼の首 幕末バトル・ロワイヤル  
野口武彦著 新潮社 2008年  
写真で綴る湖国の原風景 昭和三十年代の記憶  
野村しずかず写真・文 サンライズ出版 2007年  
滄海の一粟  
山下克巳著刊 2007年  
浅井氏三代 新装版  
宮島敬一著 吉川弘文館 2008年  
石田三成とその子孫  
白川亨著 新人物往来社 2007年  
湖北の雪山50  
富永豊著 サンライズ出版 2007年  
近江の峠道 その歴史と文化  
木村至宏編著 サンライズ出版 2007年  
成長する教師  
西村昭著 新風舎 2007年  
近江の山の山野草 山道沿いで出会える花500種  
澁田義行写真・文 サンライズ出版 2008年

## 平成20年1月～2月購入・寄贈分

馬上の山野草  
山野草の会編刊 2008年  
シャトル日記 琵琶湖のほとりで接客中！  
石村幸司著 キネマ旬報社 2007年  
関西鉄道考古学探見  
いまでも残る鉄道形跡時代の面影を京都・大阪・神戸、その周辺に訪ねる  
辻良樹著 JTBパブリッシング 2007年  
昭和三十年代湖国暮らしの表情 浅岡利三郎 写真が語る  
浅岡利三郎撮影  
写真で見る昭和三十年代の地域を研究する会(浅岡写真研究会)文・解説 白川書院 2008年  
琵琶湖周航の歌 小口太郎と吉田千秋の青春  
飯田忠義著刊 2007年  
スピリトゥス 詩集  
北原千代著 土曜美術社出版販売 2007年  
まぼろしの朱 中野照子歌集  
中野照子著 短歌新聞社 2007年  
みんな生きてる  
浜中美津子著 新風舎 2007年  
憧れと海嶽のエジプト・トルコ旅日記  
平田淳一著刊 2007年